



ごまごをのびる

ごまごなNEWS

VOL.3
2017年7月10日
発行号

発行：責任編集
粕江市岩戸北3-18-8-701
粕江で分かりやすい
政治を伝える会



東京都議会議員選挙
粕江市内選挙結果等

VOTE
Togikai-KOMAE
2017



狛江市内の投票率 なんと **12** ポイント 増加!

前回選挙比で、当日有権者増加は4,276人に関わらず、今回の選挙で実際に投票した人は10,046人も増加。

2019年都議会議員選挙が終わりました。本レポートでは狛江市内での有権者行動にフォーカスをあててご報告いたします。

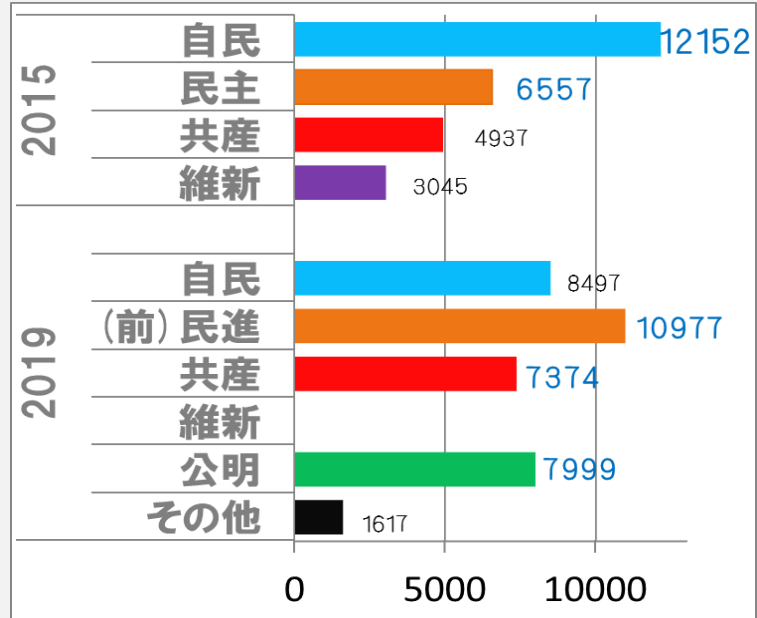
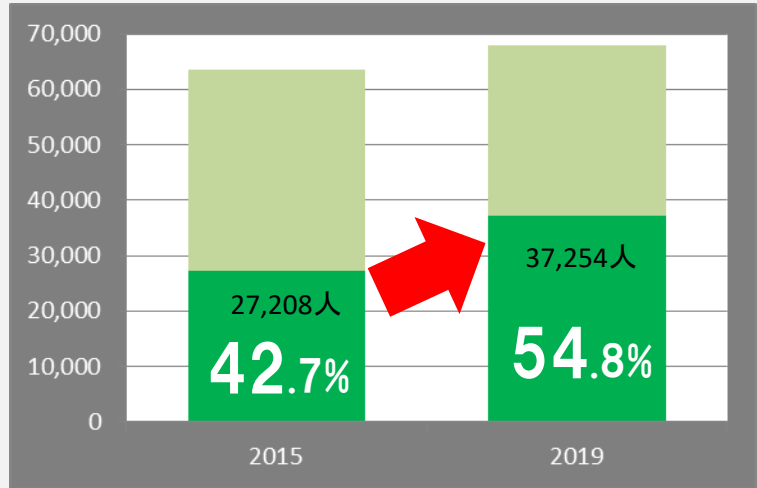
一般に都議会議員選挙は国政選挙に比べて注目率が低いと言われています。実際に前回の2015選挙(2013年6月23日)では、東京都選挙区全体投票率は43.5%と低調なものでしたが、今回の2019選挙では東京都全体投票率は51.3%と、実に7.8%も高い結果となり、都民の注目率も大変高いとかがえる結果となりました。

その中で特筆すべきは、狛江市内での投票率です。前回は、当日有権者数63,676人、投票者数27,208人、投票率は42.7%と都全体平均より0.8%低い水準でした。近年の狛江市人口増加により今回選挙での当日有権者数は67,952人と4000人強増えています。そして、投票率は54.8%と実に12.1%増えています。実際に投票所に足を運ばれた数は、10,046人増えていることとなります。狛江市選挙管理委員会では今後、性年齢別投票者数も集計されるということですので、どういう属性の方の投票が伸びたのかも、要チェックとなります。(数字は、すべて選管事務局調べ)

さて、新たな一万人余の有権者は果たして? どの候補者に投票したのかという検証です。今回は新たに公明党さんが候補者を立てています。狛江市内には過去の国政選挙や市議会議員選挙で公明党支持者層が4500人、一方、日本共産党さん支持者層は6500人ほどいると推察できます。更に、今回は公明党さんと自民党さんの連立解消により、前回の選挙結果よりそれぞれプラスマイナス4500人ずつ潜在票があると想定できます。

実際には流出入があるわけですが、仮定の話として前回投票者が同じ党派・政党を選択したとしますと、その10000人の増加分は、前民進党の無所属候補が4500人、続いて公明党さんが3500人、自民党さんと日本共産党さんがそれぞれ1000人ずつを分け合ったのではないかと考えられます。

都議選前回との比較 当日有権者に占める投票者の割合



【広告】



価格: 1600円+税
インターネットでご注文下さい

愛妻納税墓参り
家族から見た三宅久之回想録
イラスト・プレス社刊

狛江市議会議員 **三宅まこと**

1964年 東京都生まれ、立教大学経済学部卒業。
1987年 広告代理店・東急エージェンシーに27年間勤務。12年5月、120名社員プロジェクトをリーダーとして運営中に、妻が病気を発症し妻の要介護認定に伴い、介護休職後に退社。同時に自身が社会保障の重要性に目覚め、介護初任者研修、介護事務。実務者研修修了、同行援護従業者資格取得。
2014年
2015年 狛江市議会議員選挙にて、無所属新人ながら1871票の得票により全体の2位で当選。

公式HP <http://三宅まこと.com>

「こまつな」というタイトルには、市民の皆様とこまえをつなげるという意味を込めています。多くの方に狛江のコを知っていただきたいと思っています。如何でしたでしょうか? 下記記載の公式ホームページ、SNSやメールでご意見をお寄せいただけると有難く存じます。

Instagram: miyake_makoto64

Facebook: 三宅まこと

Email: info@miyakemakoto.jp

